

令和4年度生涯学習に関する市民アンケート調査について

この調査は、令和3年度に策定した「蒲郡市生涯学習推進計画2022」の計画初年度となる令和4年度の進捗状況、初期値を把握することと、今後の施策の推進のため、市内在住の満18歳以上、無作為抽出した約1,500人と、市内の生涯学習活動を行う団体として蒲郡市文化協会に加入している団体と公民館のクラブ・サークルの422団体を対象に、令和4年10月にアンケート用紙を郵送・配布し行いました。

回答方法は郵送またはQRコードを読み取りインターネットによる回答の2通りとし、より回答しやすい方法を選択できるようにしました。

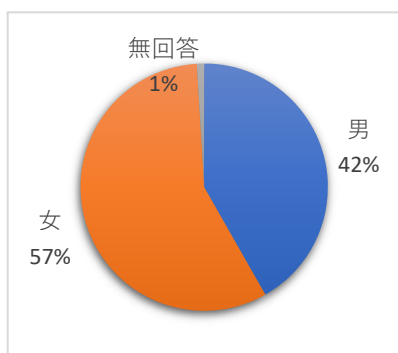
また、アンケートに先立ち、「蒲郡市生涯学習推進計画2022」の簡単な概要を説明し、生涯学習への理解を深めてもらうことと、設問をより吟味し、より多くの方の回答を得られるような内容としました。

回答率は一般が422件の回答数で、27.9%、団体が299件の回答数で58.1%であり、インターネットによる回答（ウェブ回答）は一般が30.1%、団体が6.5%でした。

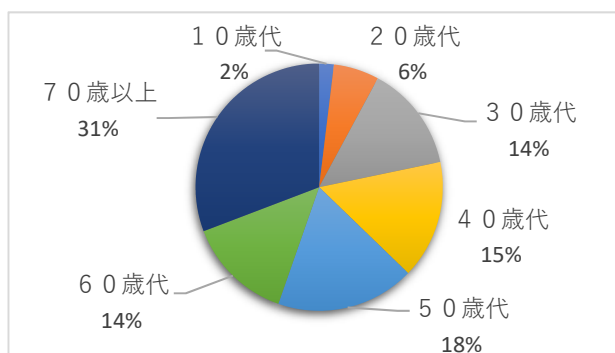
■回答集計結果（一般）

1 回答者基本データ

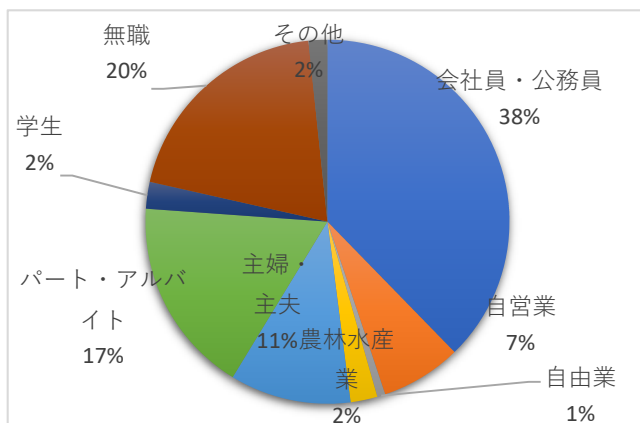
性別



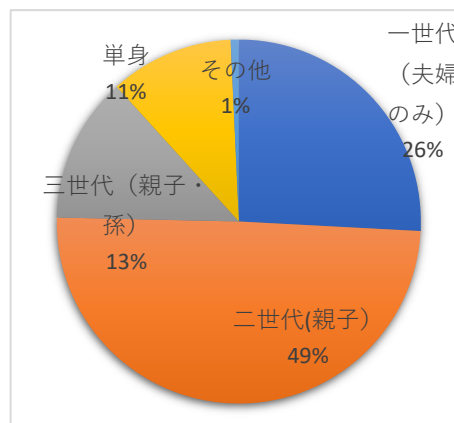
年齢



職業



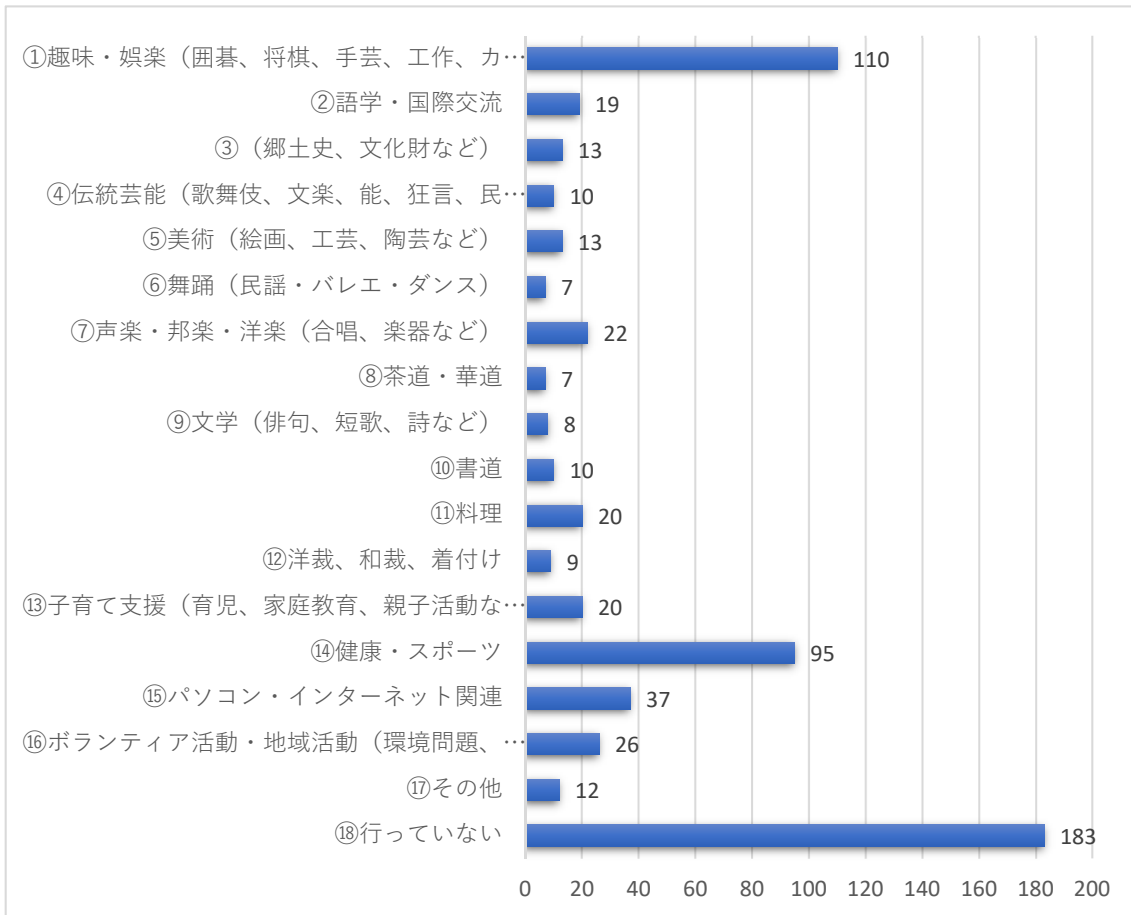
世帯構成



回答者は女性が若干多く、年代は70歳以上が80歳から90歳を含めているため、30歳以上はほぼバランスよく回答を得ています。職業については、7割弱が働いていたり、学生です。家族構成は約半数が二世世代(親子)となっています。(居住校区については省略。)

2 生涯学習に関する動向について

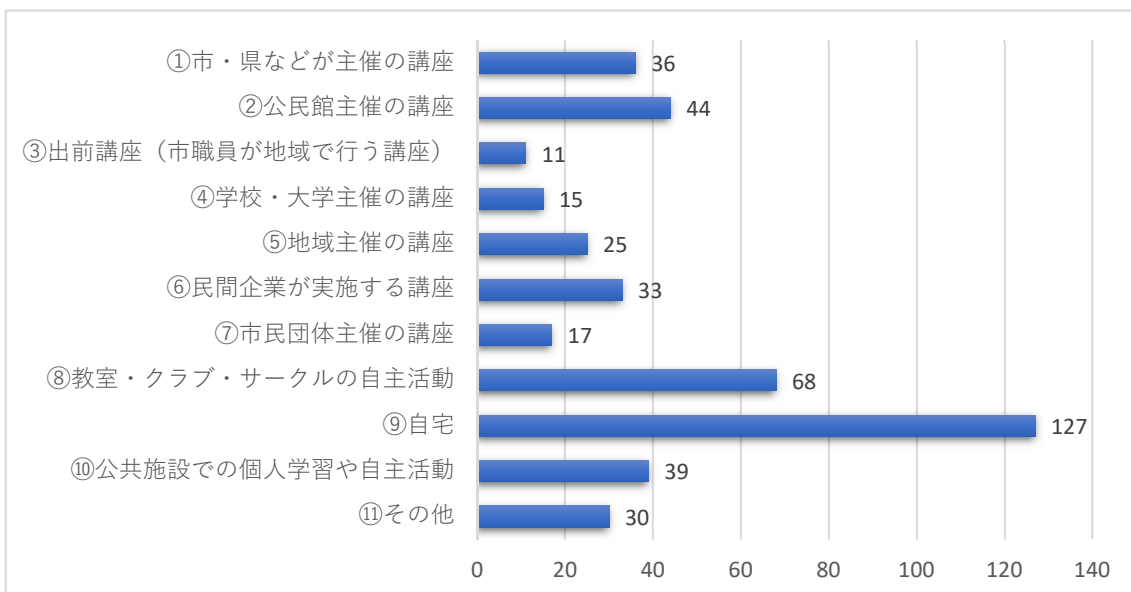
Q1 あなたは、現在どんなジャンルの生涯学習を行っていますか？



「行っていない」と回答した人が最も多く、40歳代、50歳代の回答者が多い傾向です。

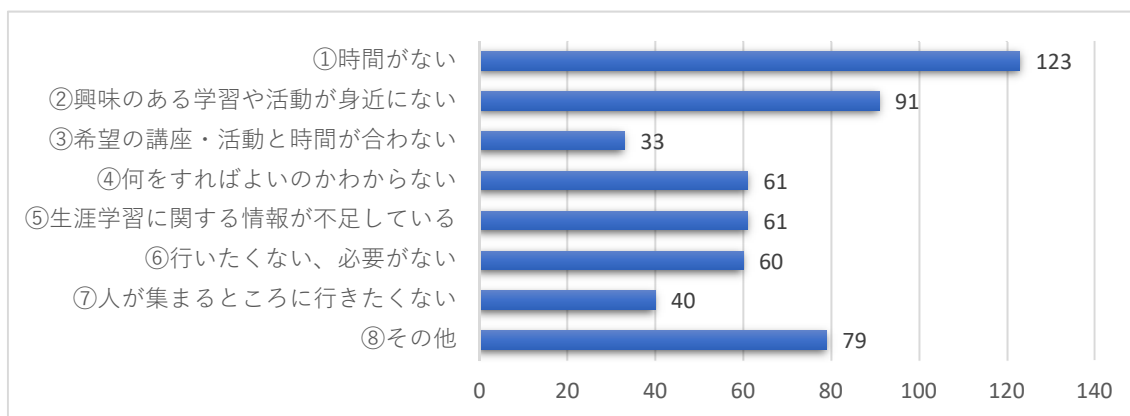
「趣味・娯楽」では70歳以上、20歳代が多く、「健康・スポーツ」では70歳以上が圧倒的に多く回答しています。

Q2 上記の生涯学習をどこで行っていますか？



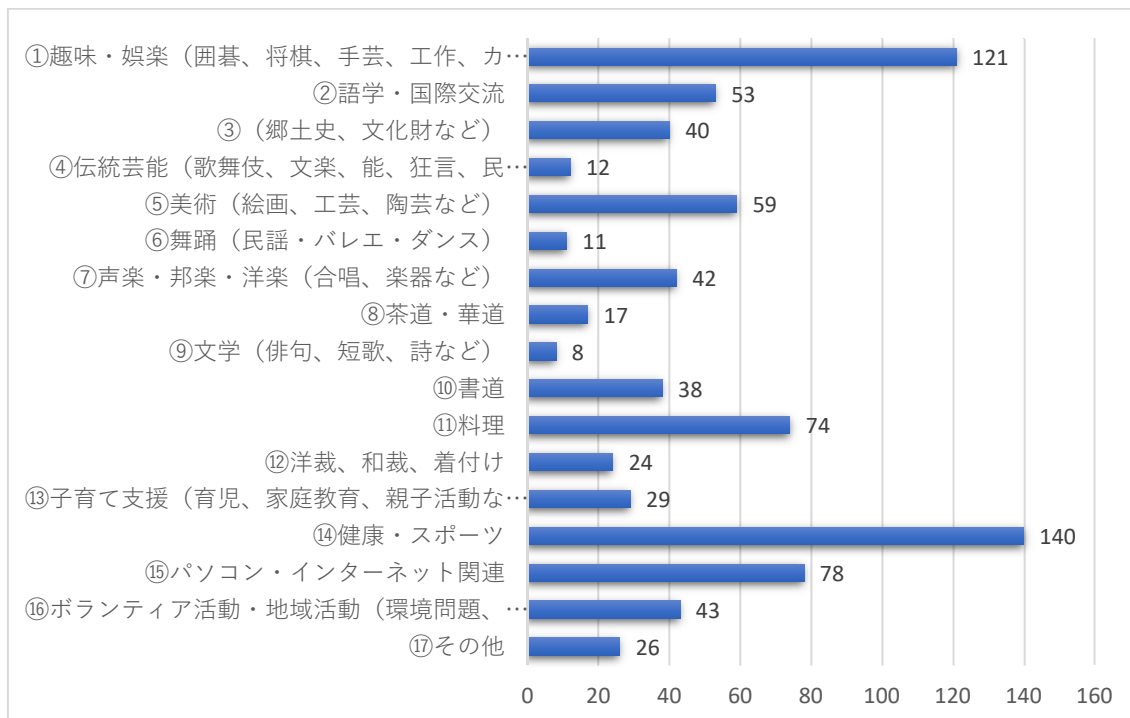
「自宅」と回答した人が多い年代は、30歳代と70歳以上です。「教室・クラブ・サークルの自主活動」と回答した人は70歳以上が多く、蒲郡市文化協会や公民館での活動をしている人と推測されます。

Q3 (Q1で「⑬行っていない」を選んだ方)行っていない理由は何ですか？



「時間がない」と回答した人は50歳代が多く、次に40歳代が多いのは仕事や家庭に忙しい世代と思われます。「興味のある学習や活動が身近にない」を選択したのも40歳代、50歳代に多く、「時間がない」と関連があるように思われます。

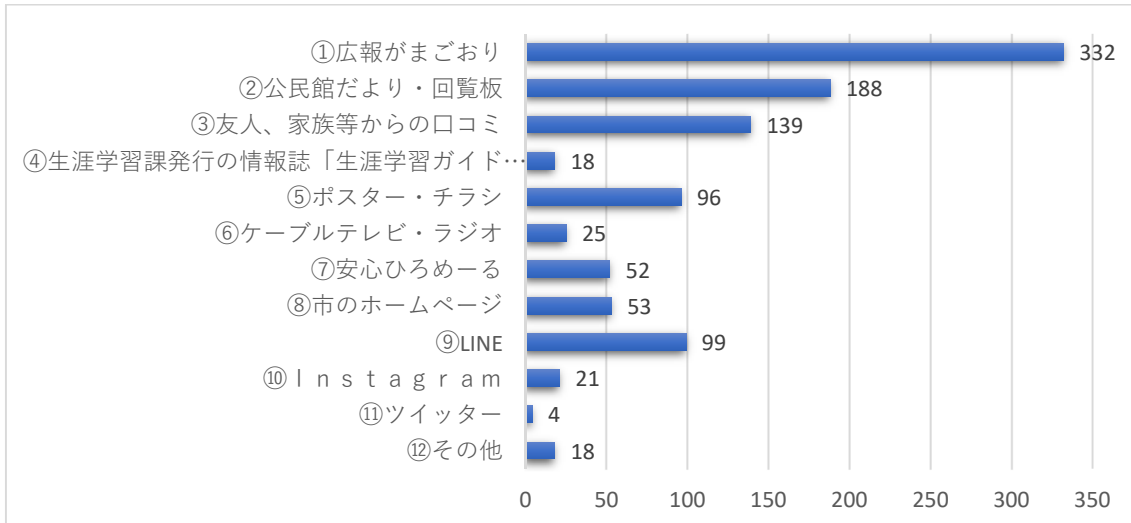
Q4 将来行いたいジャンルの生涯学習は何ですか？



「趣味・娯楽」と回答した人は70歳以上が多く、「健康・スポーツ」と回答した人が多い年代は、40歳代、50歳代、70歳以上です。「料理」と回答した人は50歳代が多く、「パソコン・インターネット関連」と回答した人は70歳以上で多いです。

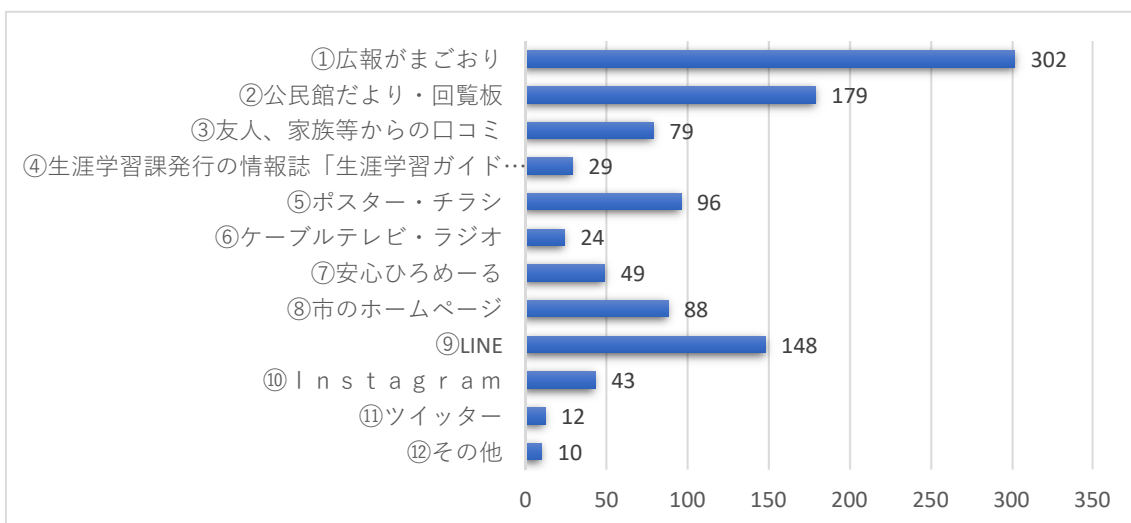
3 生涯学習に関する情報源について

Q5 市が主催する講座・イベントなどの情報をどこから得ていますか？



「広報がまごおり」「公民館だより・回覧板」と回答した人は、70歳以上が圧倒的に多いです。「友人、家族等からの口コミ」も70歳以上で多い。「LINE」と回答した人は40歳代、50歳代で多いです。

Q6 市が主催する講座・イベントなどの情報をどこから得たいですか？

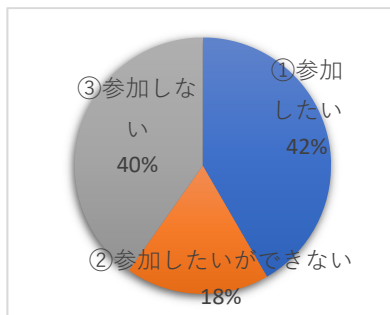
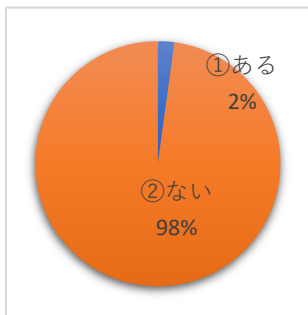


Q5の普段情報を得ている手段に加え、若干 SNS の「LINE」「Instagram」「ツイッター」と回答する人が増えています。しかしながら、「広報がまごおり」「公民館だより・回覧板」が市民の大切な情報源であることがうかがえます。

4 参加のしやすさについて

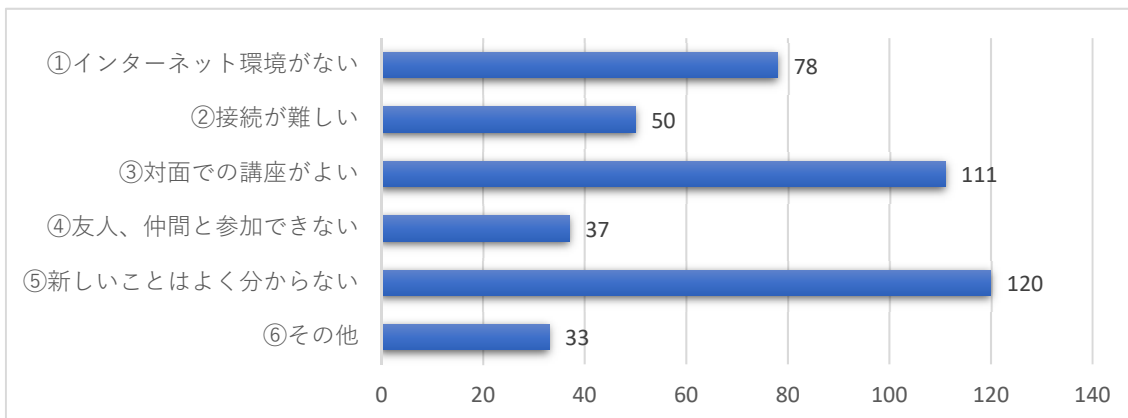
Q7 インターネットによるオンライン講座に参加したことがありますか？

Q8 今後、オンライン講座が増えていくことと思いますが、オンライン講座に参加したいと思いますか？



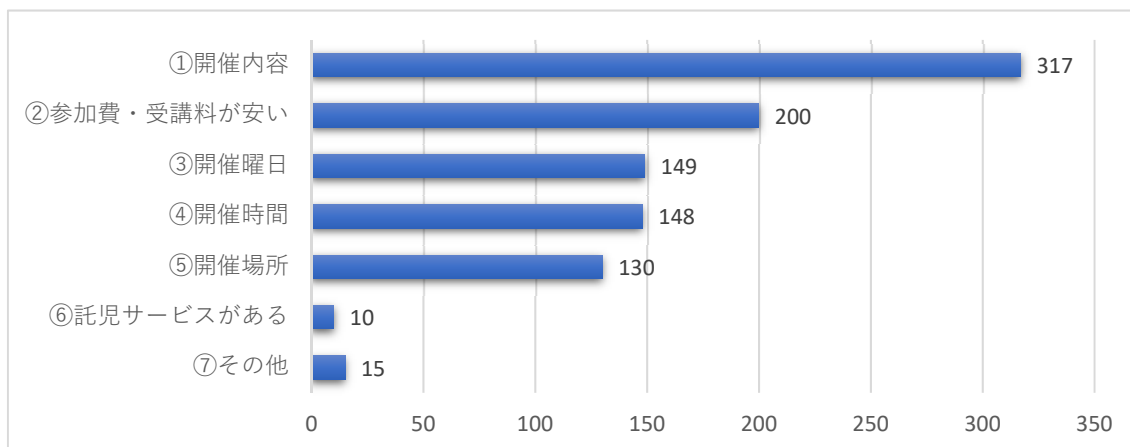
オンライン講座に参加したことが「ある」と回答した人の3分の2がWEBによる回答者でした。また4割の回答者が50歳代でした。「ある」と回答した人は、今後、オンライン講座に「参加したい」と回答。「参加したい」と回答した人の9割は「参加したことがない」と回答した人達です。

Q9 (Q8で「②参加したいができない」「③参加しない」を選んだ方) 参加したいができない、参加しない理由は何ですか？



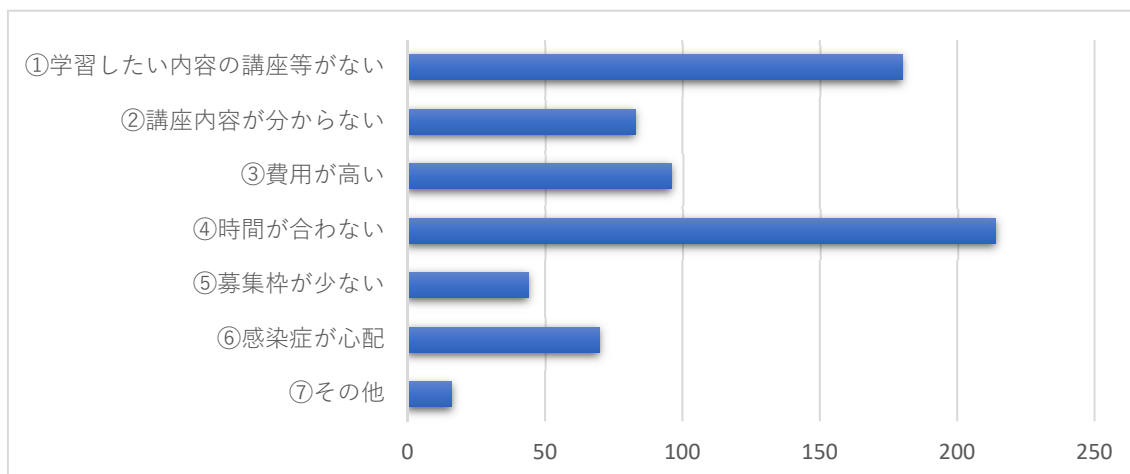
「インターネット環境がない」と回答した人の半数以上が高齢者であり、高齢になるほど増えています。「新しいことはよく分からない」と回答した人は圧倒的に70歳以上が多いです。「対面での講座がよい」と回答した人は、どの年代も同様の割合でした。

Q10 講座・イベントに参加する際に重視することは何ですか？



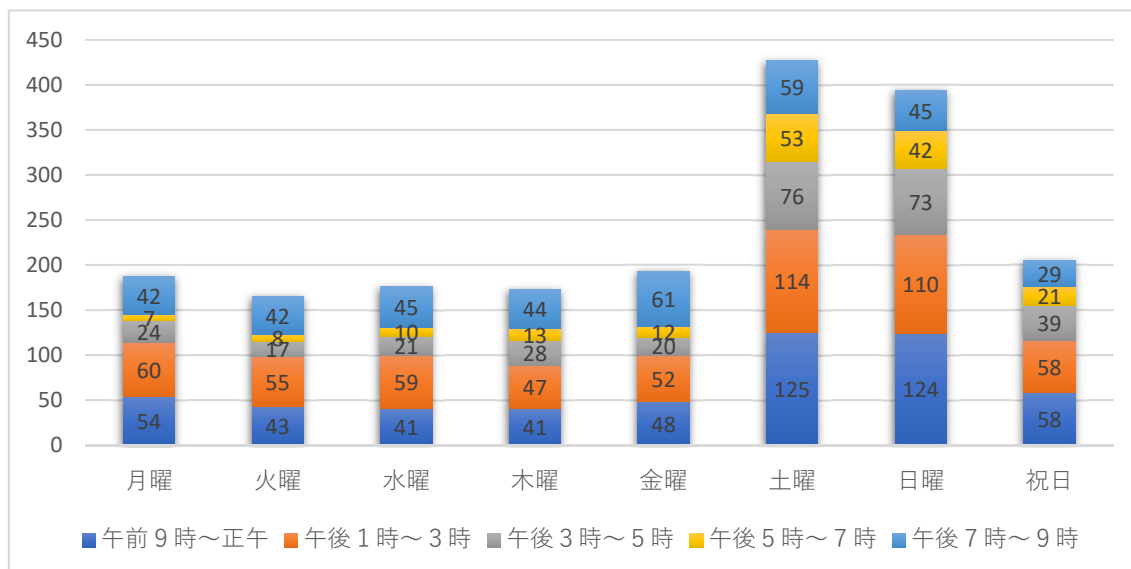
「開催内容」と選んだ人は、70歳以上が突出していますが、どの年代も多く選んでいます。

Q11 講座・イベントに参加を考える際、または参加した際に困る(困った)ことは何ですか？



「学習したい内容の講座等がない」と回答した人は40歳代と70歳以上で多いです。一番の理由としているのは70歳以上となっています。「時間が合わない」と回答した人は、40歳代、50歳代で多く、一番の理由として回答した人が多いのは50歳代です。

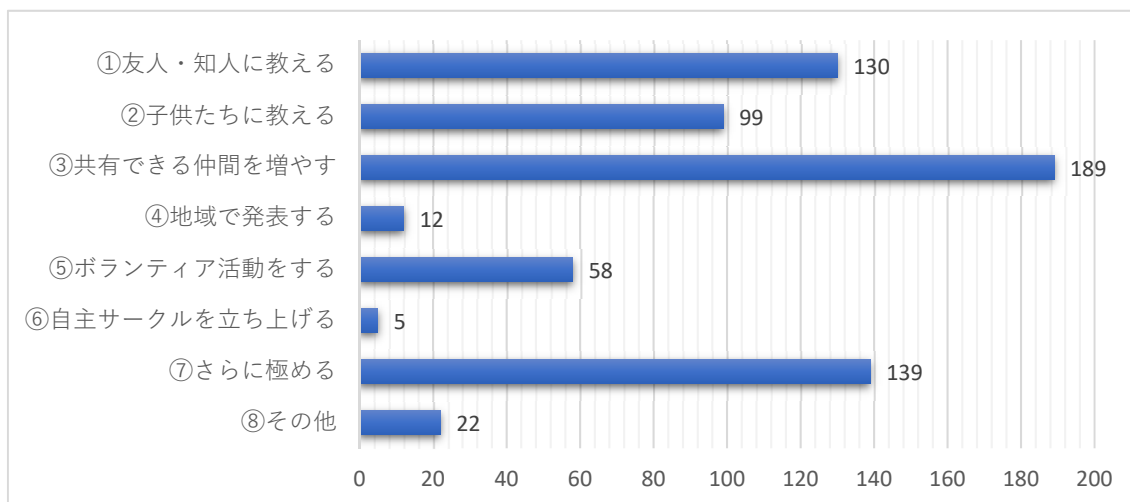
Q12 講座等に参加しようと思う曜日・時間帯はいつですか？



全体的に土曜日、日曜日の午前中と回答した人が多くなっています。「午後7時～9時」では金曜日が一番多いです。

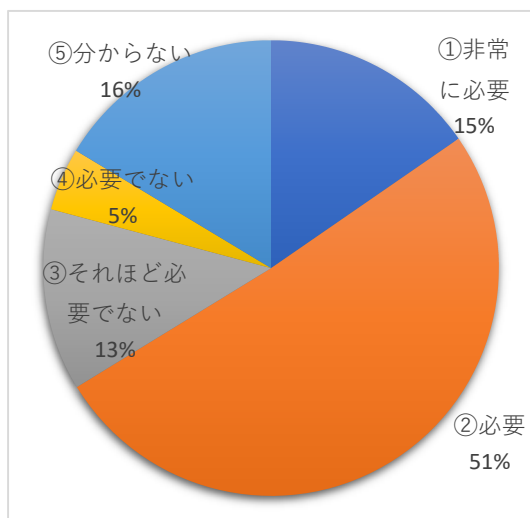
5 生涯学習に関する意識について

Q13 自分が得た知識、講座・イベントで学んだ知識やスキルをどのように生かしたいですか？



全体で一番回答の多かった「共有できる仲間を増やす」では、40歳代以降で多い傾向ですが、70歳以上で特に多い。

Q14 生涯学習の必要性についてどのように考えますか？

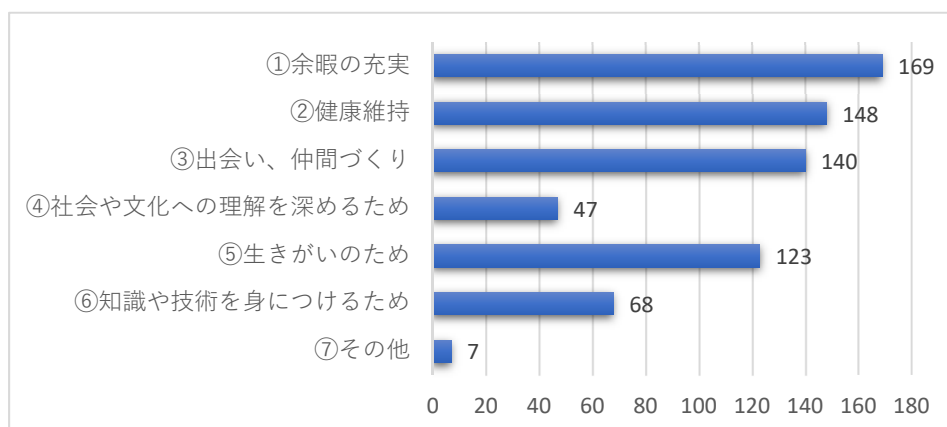


「非常に必要」「必要」な人は全体の66%にのびます。その年齢構成は

10歳代 1.9%
 20歳代 6.7%
 30歳代 16.1%
 40歳代 15.4%
 50歳代 19.1%
 60歳代 13.1%
 70歳以上 27%

で、70歳以上、50歳代が多い割合です。

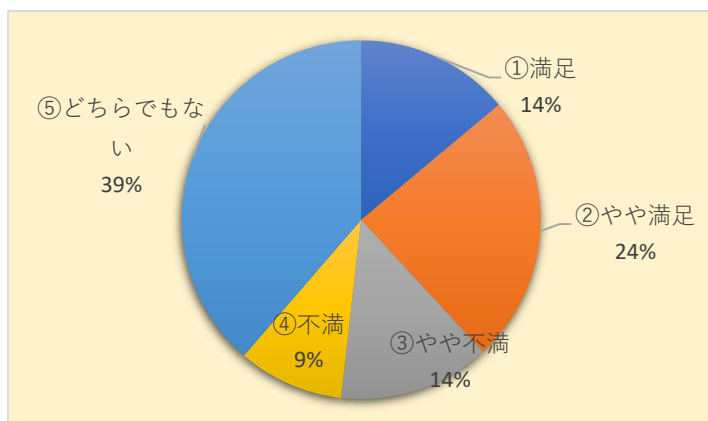
Q15 (Q14で「①非常に必要」「②必要」を選んだ方)非常に必要、必要の理由を3つ以内で選んでください。



「余暇の充実」と回答した人は70歳以上、次に30歳代で多くなっています。20歳代は「余暇の充実」の次に「知識や技術を身につけるため」と回答した人が多いです。

「健康維持」は70歳以上で多く、次に50歳代が多いです。「出会い、仲間づくり」と回答した人は、70歳以上、次に40歳代、50歳代と続きます。

Q16 ご自身の生涯学習について満足度を1つ選んでください。



「満足」「やや満足」と回答した人は全体の38%でした。

その内訳は、10歳代 1.4%
 20歳代 8.1%
 30歳代 17.6%
 40歳代 10.1%
 50歳代 16.9%
 60歳代 9.5%
 70歳代 36.5% でした。

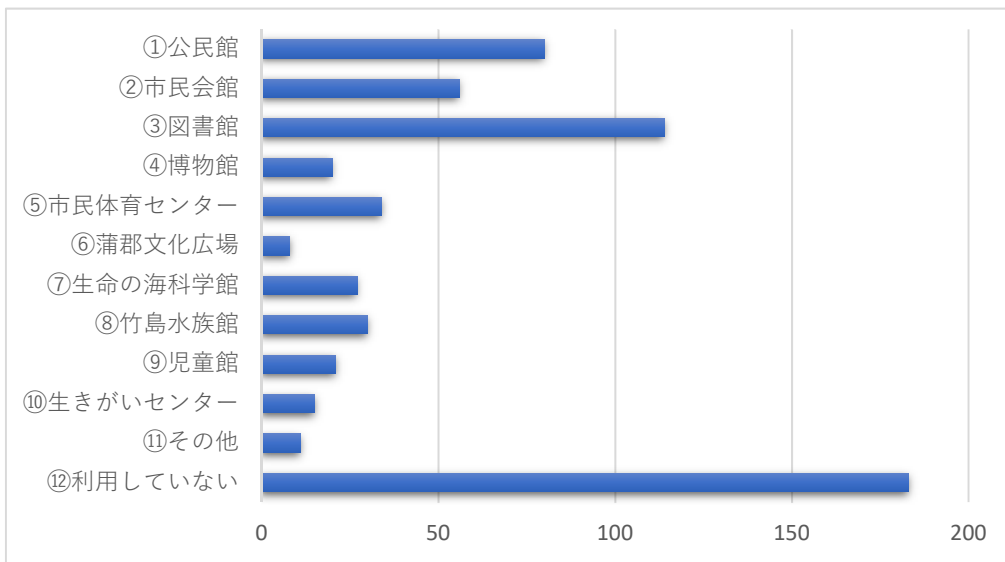
(参考)「蒲郡市 市民意識調査」(令和4年6月実施)

蒲郡市の暮らしの満足度

生涯学習活動…「満足」1.8%、「やや満足」9.3%、「どちらとも言えない」75.5%、
「やや不満」7.0%、「不満」1.3%

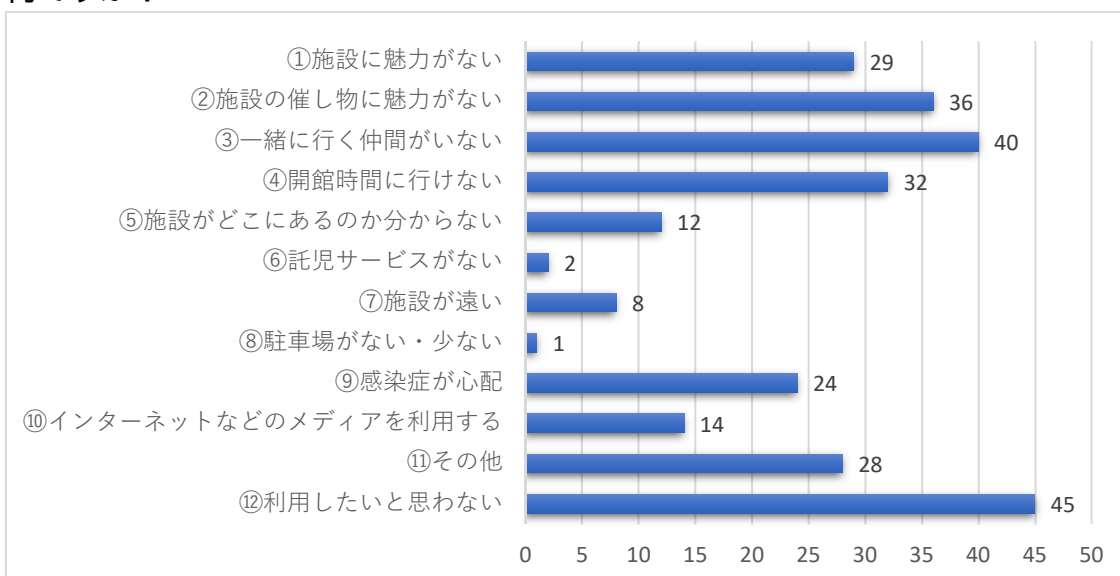
6 施設について

Q17 よく利用する公共施設はどこですか？



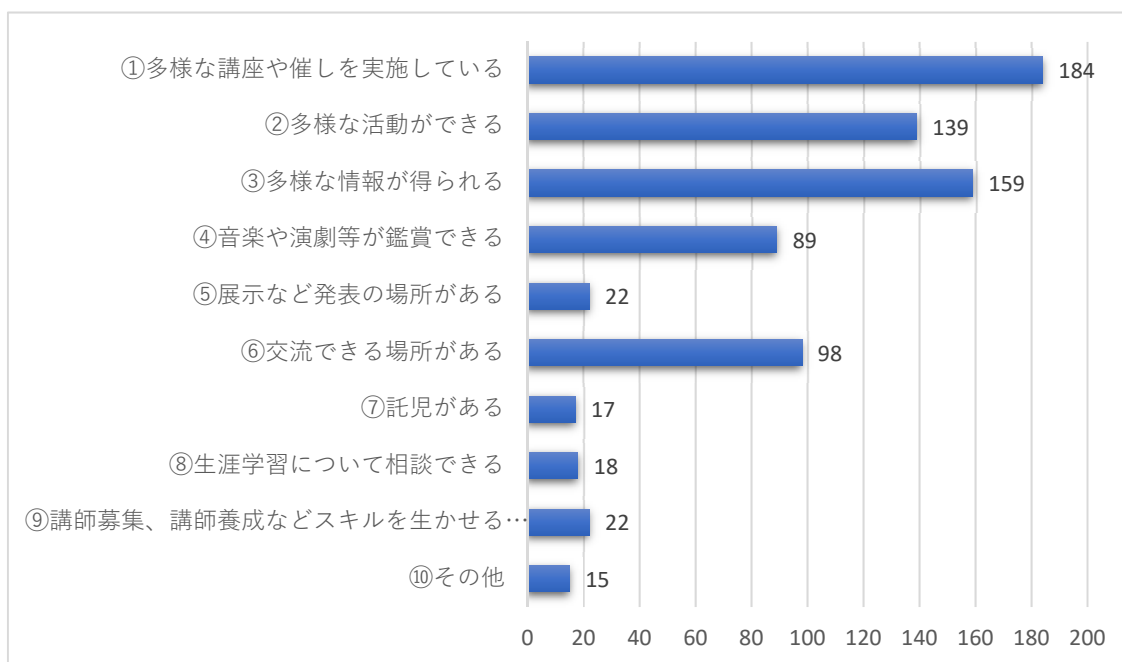
「利用していない」と回答した人は、50歳代、70歳以上で多く、40歳代、60歳代と続きます。「図書館」と回答した人は、70歳以上で多く、30歳代から50歳代ではほぼ同数の回答がありました。「公民館」と回答した人は、圧倒的に70歳以上が多いです。

Q18 (Q17で「⑫利用していない」を選んだ方)利用していない理由は何ですか？



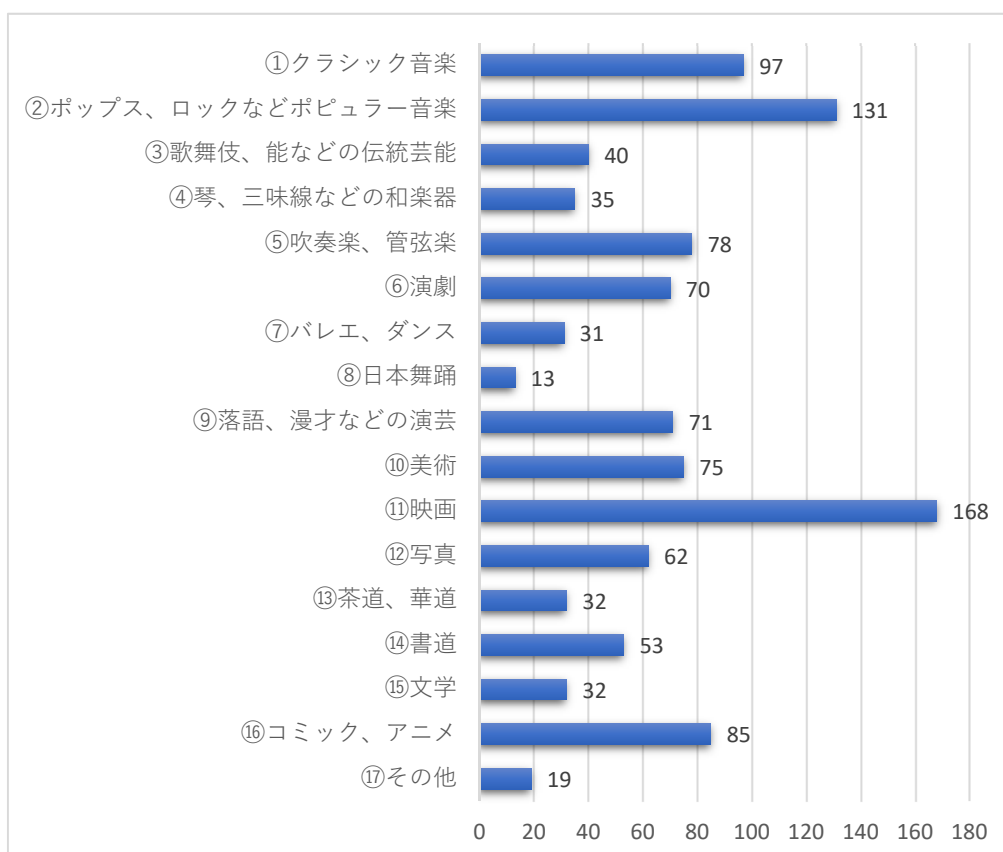
「利用したいと思わない」と回答した人は、60歳代、70歳以上で多くなっています。「施設の催し物に魅力がない」と回答した人は、40歳代が多いです。

Q19 生涯学習を行う施設に求めるものは何ですか？



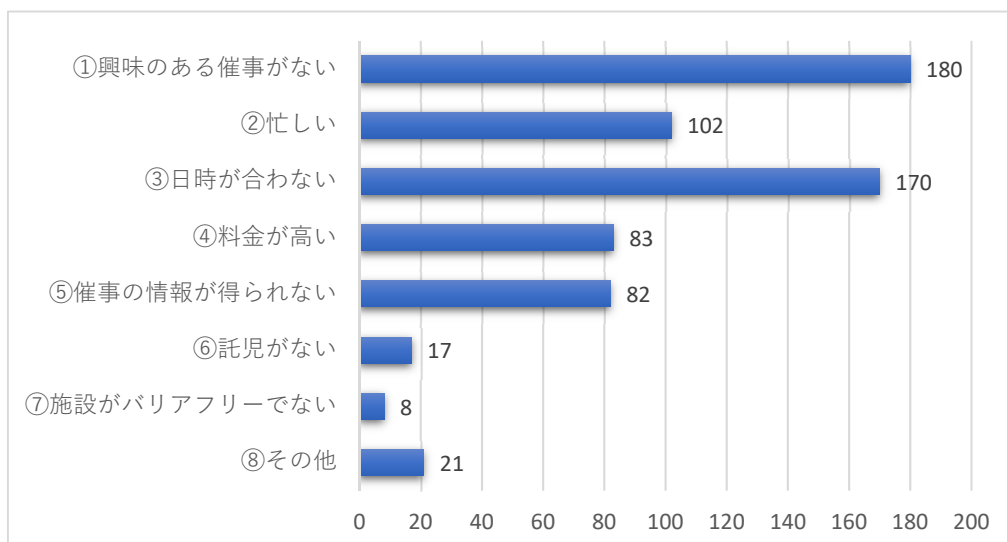
7 文化芸術について

Q20 興味のある文化芸術は何ですか？



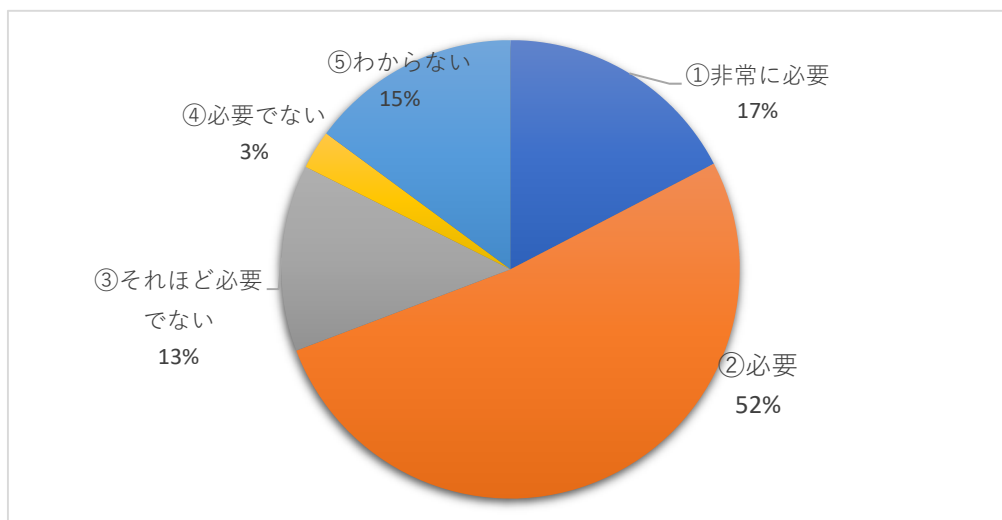
「映画」と回答した人は50歳代が多く、40歳代、70歳以上と続きます。

Q21 文化芸術を鑑賞する際に困る(困った)ことは何ですか？



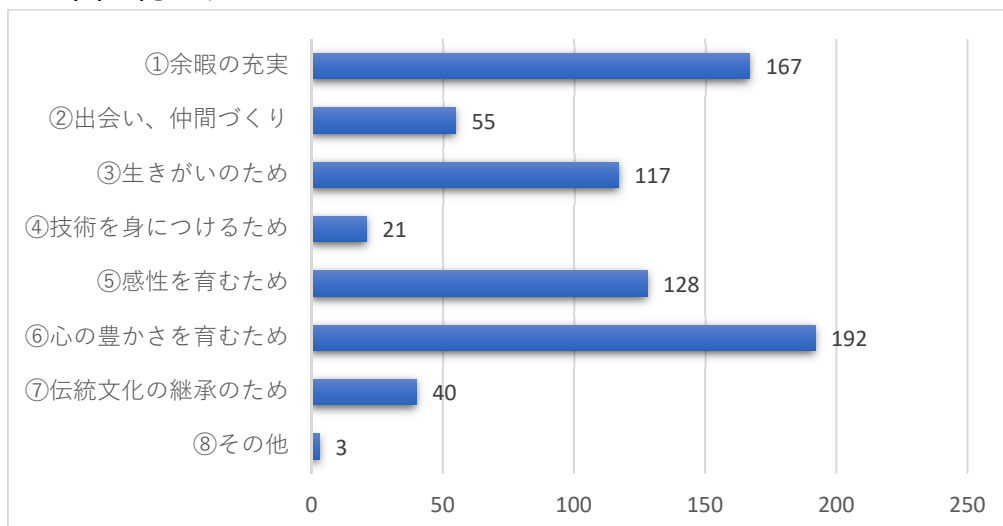
「興味のある催事がない」と回答した人は70歳以上で多く、次に50歳代が多いです。「日時が合わない」と回答した人は50歳代で多く、40歳代、70歳以上と続きます。Q3同様、40歳代、50歳代が忙しい世代であることを象徴しているものと思われます。

Q22 優れた文化芸術を鑑賞したり、活動を行うことの必要性についてどのように考えますか？



「非常に必要」、「必要」と回答した人は、年代が上がっていくにつれ、増えていきますが、60歳代で減ります。他の設問もその傾向がありますが、70歳以上は多くの方が回答しています。

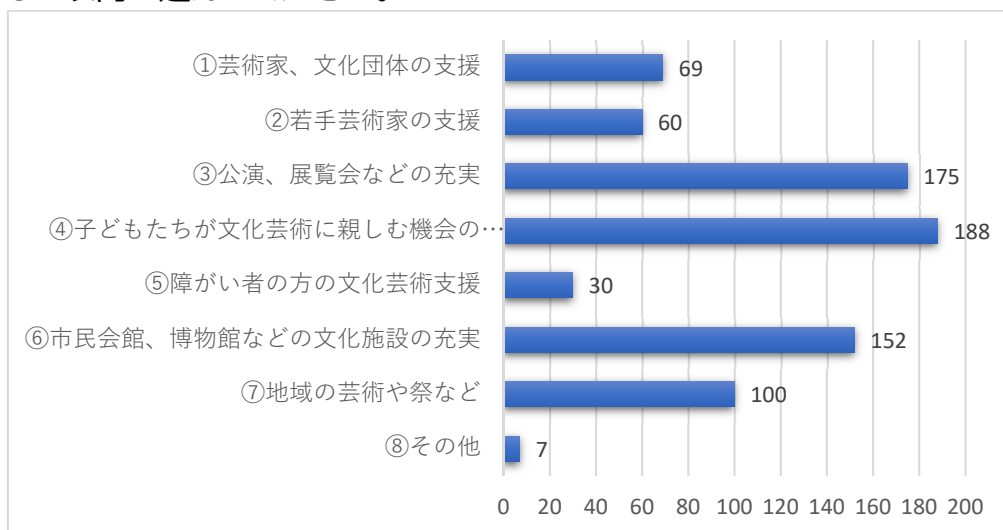
Q23 (Q22で「①非常に必要」「②必要」を選んだ方)非常に必要、必要の理由は何ですか？



「余暇の充実」、「心の豊かさを育むため」と回答した人は、年代が上がっていくにつれ増えていきますが、やはり60歳代で一度減り、70歳以上で増えています。

「出会い、仲間づくり」と回答した人は、約4割強が70歳以上です。

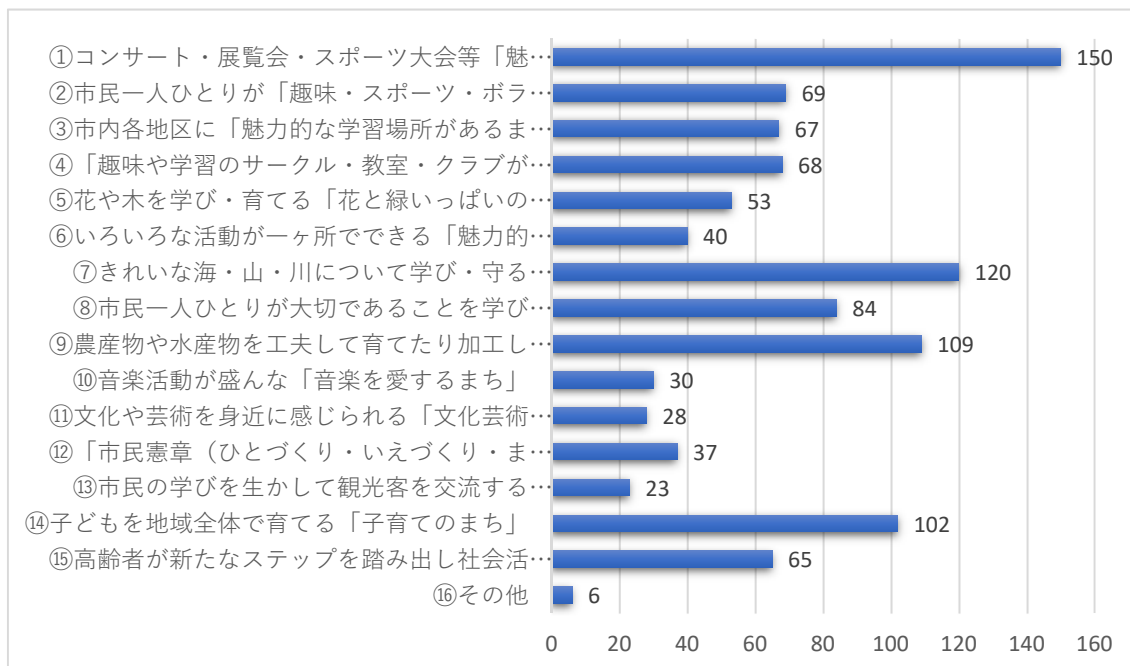
Q24 市の文化芸術を進めるために市が積極的に取り組むべき分野について、3つ以内で選んでください。



「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」を一番目に選んだ年代は40歳代でした。トータルでは70歳以上が多いですが、40歳代、30歳代、いわゆる子育て世代が続きます。「市民会館、博物館などの文化施設の充実」と回答した人は、年代が上がることに増えています。

8 まとめ

Q25 将来の蒲郡に求める姿のイメージを3つ以内で選んでください。



「コンサート・展覧会・スポーツ大会等「魅力的な催し物が開催されるまち」を選んだ人は40歳代、50歳代が多いです。「きれいな海・山・川について学び・守る「自然豊かなまち」を選んだ人は、70歳以上が多く、40歳代、50歳代と続きます。「農産物や水産物を工夫して育てたり加工したりして「おいしい食べ物がいっぱいあるまち」を選んだ人で一番多いのは50歳代、次に70歳以上、40歳代と続きます。「子どもを地域全体で育てる「子育てのまち」を選んだ人が多いのは30歳代が多く、70歳以上と続きます。

Q26 生涯学習のまちづくりを推進していくためのご意見・アイデアがあればご記入ください。

92件のご意見をいただきました。(原文のまま)

- ・少子高齢化問題!!子供たちが各々に幸せを感じられる様よろしく願います。
- ・アンケートは紙代や切手代がかかるためインターネット経由で聴くべき。無料のインターネット、Wi-Fi環境を整えるべき。蒲郡はインターネットを使いこなすハイテク都市になるべき。アナログすぎて他の町と差が付き、それこそ経済格差になる。小中高ともに無料でアップル製品やアンドロイド製品を選べるような形にして配るべき。今の時代はインターネットである。
- ・西浦の竜田海岸の空き地を整備し、自然豊かな地域にしてほしい。現在、草が生え、ひどい状況です。(形原の春日浦地区のように)
- ・道路に草がいっぱい生えています。とにかく蒲郡の町は草がいっぱいきれいな町づくりができているとは思えません。蒲郡の人みんなで、なんとかいいアイデアを出して素敵な蒲郡にしていけるとよいと思います。
- ・身近な地域とのつながりを大切にしていくこと
- ・健康寿命を長くできる町にする為実在している箱物施設を逆転の発想で緑のたくさんある遊歩道として結び、子どもから高齢者まで一緒に話して楽しく歩く道にする

- ・学習もコロナでとても難しいので残念です
- ・蒲郡に転居して5年目になりますが施設があまりにも老朽化していて、なおかつあちこちに点在していると思う。トータル的な総合施設等の展開を希望する。図書館の改善・体育館古すぎませんか？もう少し近代化に方向を！
- ・観光、がまごおりをもっとアピールして多くの人が行きたい街づくりをした方がいいです。
- ・車が無くても参加しやすいようにバスや乗り合いタクシーがあるといい。「それ」を目的に行くのではなく温泉旅行の行事の+としてあると参加しやすいのではないかと思う。せっかく良い温泉があるのだから。(例) 山あるき+温泉一泊 感謝の日子ども料理教室(おもてなし料理+いっしょに温泉日帰り) etc.
- ・市民税を軽減してほしい。年金が少なく生活が苦しいので。
- ・楽しさの内容(お楽しみ系と知的な喜びやアカデミック的)のバランスの取れた事業を推進していただきたい。
- ・参加したいのですが近くにないので行けません。歩いていける距離にあるといいですね。使用できるのは大塚公民館だけです。
- ・携帯やパソコンでしか情報を得ることができないので、オンラインなどで無料で参加できるものがあればいいと思います。お金を払ってまで参加しようとは思いません。参加するとプレゼントがあったりすれば、積極的に参加したいと思います。
- ・蒲郡市(株)会社として考え運営ができたらと思っています。報告書はグラフではなく、財務諸表、損益計算書を作成し、年1回報告している。現在、市の財務はどうなっているのか知りたい。
- ・学習をスタートしようと思った際、参加へのレベル差の不安もあり、参加しやすさ、内容・情報・収集しやすさがあるとよい。学習の領域を各種分野へ広げるとよい。講師はいなくても自分たちで計画、行動できるサークル的でもよい。
- ・人口を増加させて活気ある町づくりが、まずは必要であると考えます。
- ・身体に異常があり動くのも難儀な人にこの問題はわかりません。
- ・情報発信をHPなどで実施してほしいです。改善いただけるとありがたいです。
- ・だれでも参加できる会議、会合の場を作ってほしい。もっと住みやすい街にしたい。
- ・図書館を充実させてほしい
- ・映画館をつくれ
- ・以前は著名な作家やエッセイストの方々の講演会が市民会館であり、多くの人が集まったのに最近はなくて残念です。このような会が開催されることを希望します。
- ・嘗ては蒲郡は観光と繊維の街として有名でしたが、繊維の停滞で二本柱が崩れつつある。繊維産業の立て直しを図るか文化・芸術等で柱を作るなどが必要だと思います。生涯学習が柱づくりで役立てばと思います。
- ・ガンダムベース誘致
- ・親子又は地域で大人と子どもと一緒に活動できる清掃、花苗を植える活動が増えれば、子育てだけでなく、市内も美しくなり一石二鳥。ただ、人々を集める為の楽しい魅力が必要かと…
- ・海と山に囲まれ温暖な気候に恵まれている有意性を生かして、「美しいまち」蒲郡づくりができるような啓蒙活動を期待する。

- ・子どもが泣いたり大きな声を出しても許される環境での音楽鑑賞や講演会。地元の飲食店のレシピを教えてくれる料理教室。
- ・私は生きがいセンターで楽器を練習していますが、現在市内各施設はコロナ感染予防のため音楽関係の集まりは不可となっています。蒲郡は以前から音楽の街と言われております。生きがいセンターでは私が知る限り、蒲フィル、シニア、合唱、ハーモニカ、カラオケ、ジャズなど多くの団体が利用しており、約 200 名程度かと思います。過日、市役所危機管理課に伺ったところ、蒲郡市は県の基準で利用不可としているとの回答でした。豊川、西尾は利用でき、小中学校は活動しています。蒲郡市の独自性はないのか、矛盾を感じます。このままでは各団体は解散となり、音楽の街も返上となりかねません。一考をお願いします。
- ・生涯学習の街づくりを推進しているということを知らなかったのも、若い人に届きにくい宣伝が行われている気がした。Twitter アカウントのフォローの義務化はやりすぎかもしれないが、それくらいのアプローチは必要な気がした。
- ・年齢に関係なく趣味や学習のサークル、教室、クラブに入れるようになるとよい。一部に年齢の制限があるので。
- ・屋外でもマスクをしている人がほとんどなので、いいかげんに外すべきだと考えます。
- ・小学校の部活動がなくなっている中、子どもの体力テストワースト1に入っているのが愛知県。部活をしないのであれば、子どもを対象としたスポーツ活動への補助、援助事業を行うべきと考えます。
- ・蒲郡で生まれ育った私は昭和生まれです。蒲郡の人の気質が非常に保守的で、よそ者は受け入れないということをよく聞きました。人への思いやりやボランティアのようなことは、絶対にしない人が多かったです。心をひらき共に仲良くしていくようになったらと思います。文化度も低いような気がします。
- ・蒲郡には美術館、音楽堂がありません。
- ・蒲郡にアピール・ピーアールに力を入れる。宣伝してほしい知名度アップが欲しいです。その為には中身を作らないといけないかな。期待しております。蒲郡の未来を応援します。
- ・「始められない」「知らない」「始める系口がわからない」「生活でいっぱい」「余裕がない」等の理由が最大の妨げであると考え、間口が広がると良さそう。間接的なアプローチも有用と思われます。とても難しい問題ですが。
- ・市はラグーナ、竹島の施設を持つが、まだ他に乃木山、弘法山、五井山、新箱根、三ヶ根山、西浦海岸と魅力のある場所を多数持っている。これらの場所に人工を加えてつなぎ、箱根伊豆や六甲のような大都市からの人たちの遊ぶ場所を作り観光都市にしたらと思う。又漁業も復活させたい。
- ・蒲郡の今の図書館は古くて高齢者、障害者等利用しにくい。他の地域は子供達、高齢者にやさしい施設になっています。よその地域から見学が来るぐらい将来の子供の為にも充実した図書館が欲しいです。生涯学習の原点だと思います。
- ・学びや趣味の講座に参加したくても、最初の一步がなかなか出ないので、参加しやすい Open な参加方法があれば行きやすいなと思います。あと、色々な施設がもっと簡単に使いやすいとうれしいです。
- ・困っている人、弱者を助ける気持ち、思いやりの心を育てる教育、人間作りを、人の気持ちを大切に、自分さえ良ければという考えをただす教育が欲しい。

- ・私の畑を使い、作物の収穫を興味のある人にしていただきたいです。ボートレース蒲郡の駐車場に老人ホームを作り、頭と体のリハビリをするといいです。ボートレース場の治安のために、駐車場に警察署を建てて、体育館を元警察署まで広げ、駐車場もできそうです。(もう遅いですが)
- ・施設利用料金の見直し。今、プールを習っている子しか泳げないのが現実。市民プールがなくなったことで、泳ぐ機会がない。ラグーナでは高すぎる。海もあるのに泳げない。悲しいと思う。
- ・竹島の水族館にある場所にてシャッター街になっているのがとても悲しく思います。せっかく魅力ある水族館があるのにとても残念です。三谷の街中も古いシャッター街も同じです。予算はかかりますが、まずは建て替えをし、若い人たちに好まれる店舗などを増やしたらよいと思います。高齢者の多い蒲郡市にも活気がわき、観光も右肩上がりかと思いい期待できます。
- ・市はいろいろ申し出ても返事はするけど実行しません。・歩道の草など各組で刈るよう組長に申し出て下さい。
- ・テレビやスマホを見ない日運動(週に1回) ・市内の生涯学習施設を月に1回は利用しよう運動 ・子どもたちが高齢者施設を訪問する。又はその逆。老幼の交流の場づくり
- ・図書館の充実 ・学校の開放 ・コミュニティースクールになっているので学校の活用を工夫してもらえるとよい。学校は地域にとっても「魅力的な学習場所」であると思う。
- ・各学習サークルはメンバーが固定されていて新規に入る事が難しいと思います。常に開かれた環境の発言が必要だと思ひます。
- ・妻は認知症でデイサービスに週4日行っています。要介護1です。デイに行っている間はとても忙しく家事を全部しているのて学習には行きたくても行けません私には、元は大工なので家で趣味で色々な物を作っています。私は、リウマチなので毎日朝と夕方に散歩をしています。
- ・整備されたキャンプ場などあれば、そこで、イベント等を開催することで自然と触れ合う楽しさや防災への意識(自主防災)向上にもつながるのでは。観光客や蒲郡の魅力の発信にもつながると思う。
- ・三谷水産高校の南の海にアサリを多く育ててほしい。楽しさが増えます。
- ・蒲郡に住んで 10 年以上経ちますが、病気になって散歩するようになり、山や海などの自然に癒されてようやくこの町が好きになりました。愛知県民にとって食や自然そして運動(自然と触れ合い)といったヘルスケアの町になると素晴らしいと思ひます。
- ・蒲郡は全天候型の多目的体育館、文化施設が不足しているように感じられます。
- ・今回のアンケートは先の健康状態が分からないので、全部答えることが出来ず、申し分けありません。
- ・まとめにあった⑨も重要だと思ひます。水産高校との企業コラボの商品などは、私の友人がリピート購入のため、市外より来てくれています。
- ・子供から高齢者まで一緒に楽しめる生涯学習が増えると良いと思ひます。移動手段のない高齢者も多くなっているため、自宅に友だちを集めて出前学習などもあると良いのではないのでしょうか。
- ・もっと”蒲郡”を上手く活用して、豊かな街にしてください。

- ・子供たちが自由に学び遊べる教育を実践してください。形式にとらわれない自由な発想を生かせる教育。子供たちが未来を担える明るい街をつくりたい。
- ・かたばらずに通りすがりに見学できる施設。
- ・とりあえずゆるキャラのがまゴリラをかえた方がよい。ト丸より知名度が低いし、かわくないし、生涯学習のまち作りのイベントで会いたい、見たいと思うようなキャラクターマスコットにすべし。ミカンでいったらどうですか？蒲郡ミカンっておいしいって結構有名ですよ。
- ・蒲郡の良さ、海、温泉、海の幸、食事（あさりうどん、マルナカ、みつわのラーメン等）、ゼヒラグーナ発着のフルマラソンを企画してください。ラグーナ～形原温泉を往復する楽しいマラソンになります。
- ・本アンケートを通じて、蒲郡市の強み（市民の想い）を改めて明確にし、歴史文化の継承と新たな学習の場の提供を真剣に考えていただきたい。次世代（100年先）の方々が蒲郡市に住んで良かったと思える町づくりを期待しています。
- ・今は大病をしたのでまた元気になったら、いろんな活動をしたいと思っています。
- ・車を運転していて、私が最近感じることは、蒲郡には心の余裕がない人が多いのかなあと思います。西三河と比べると蒲郡市内は走りにくいです。生涯学習の推進により、市民ひとりひとりが心の余裕を持てるようになれば良いと思います。
- ・常設でなくてよいので、美術館、映画館が欲しい。子供たちが安く入場できる、本物の楽器に触れたり、本物のお芝居、演奏など芸術に触れる機会が欲しい。ワークショップなどでの実施。
- ・今回のアンケートに回答させていただく中で、生涯学習について自分なりに考えることができました。今後、機会があれば利用させて頂きたいと思いました。
- ・市民一人一人に寄り添うことのできるまちづくり。困っている人に手を差し伸べてほしい。
- ・母と祖母が”純烈”の大ファンです。蒲郡で後援していただきたいです。ご検討の程、よろしく願いいたします。
- ・生命の海科学館や博物館の D51 は、他市の人からみても魅力的なはずですが、催物がいまひとつです。近くに子どもが遊べる遊具設置や刈谷市のように交通公園があるなどもう少し子育て世代が気軽に集まれるような場所にしてほしいです。
- ・幸田町で毎月 15 日にあった、モノマルシェのようなマルシェや、作家さんが自由に作品を発表したり、販売できるフリースペースや、キッチンカーが定期的集まる広場があると楽しいと思います。単発のワークショップや、生涯学習で学んだことを、発表できる場所が必要かと思います。
- ・どこにどんな施設があってどんなことができるのか、利用状況などがわかるように。
- ・どこでどんな活動が行われているかわからないので、一覧とかあるといいと思います。あと、高校生や大学生の子どもがボランティアに楽しんで参加できるような活動があったらうれしいです。
- ・今後は更に IT を活用することが増えていくと思います。まずは、市民全員が基本的な IT 知識を習得し、ある程度ツールが使いこなせるレベルになれば更に学びのサイクルがうまく回るのではないかと思います。また、何か学びたいけどどうしてよいかわからない、面倒だ、という方への動機づけヘルプ（その人にとっての真の目的と一緒に探してあげる）などがあると、より参加者が増えるかなと思います。あとは、各講座の PR 方法ですね！当方は民

間で同じような業務に携わっていますので、なかなか難しいことがよくわかります…。

- ・蒲郡の自然豊かな町を生かした活動をお願いします。子どもも大人もご年配の方もみんなが楽しめるものがあります。
- ・他のまちが取り組んでいる生涯学習の取り組みを知りたい
- ・子育て世代を定着させたりする政策は良いと思うが、人口減少に歯止めがかからない企業誘致に失敗した蒲郡はいつその事、高級老人ホームや老人医療介護の充実した全国の高齢者が安心して暮らせるまちづくりを目指すのが良いと思います。老人が安心安全に生活できる街なら若い人も自然に増える。収入源は累進制で施設料金を回収など。
- ・蒲郡市の為、蒲郡市民の為にいつも働いてくださってありがとうございます。市外から来た人は綺麗な景色、自然などを楽しんで行かれます。大きな都市にはない良さがあります。素晴らしいところです。でも住むとなると住み心地が良いかといえそうです。もちろん大きな都市では交通の便がよく施設も綺麗で充実していると思いますが、それだけではないように思います。何かは分かりませんが、住み心地が良ければもっと若い人がたくさん住んでくれて活気も出るのではないのでしょうか。小さな市でも地道に努力した水族館は本当に素晴らしいと思います。そこに何かヒントがあるように思います。これからも住みやすい蒲郡市を目指して頑張ってください。よろしくお願いします。
- ・事務的な事がすんだら批判や失敗をおそれず実行する。会議だけで終わらない事。
- ・学校との連携をもっとたくさんして、子どもたちに生涯学習のことを知ってもらおう。
- ・1で行われる行事に親子で参加したいが感染予防のため定員数の枠が少ないため行う回数を増やしてはどうか。
- ・どこで情報を得られるのかがわかりにくかったり、連絡が電話やファックスに限られていて参加したいと思っても平日の昼間に電話できななかったり、そもそも電話をすることをハードルに感じてしまうことがあるので、メールや HP から参加表明ができれば参加のハードルが下がると思いました。蒲郡が魅力的な街になり、より住みやすく活気のある街になっていくためにも生涯学習の取り組みはいいと思います。
- ・豊橋にできたエムキャンパスのような、おしゃれな空間で読書をしたり、講座に出席できたり、食事ができるといいと思います。若い子も年配者もそれぞれ目的を持って集まれる「場所」があると交流や相互理解も進むのではないのでしょうか？
- ・蒲郡しかできない特色のあるものとして 魚市場体験や 漁師体験など
- ・いろいろな年代の人が気軽に集えるイベントがあればいいなと思います。英語を学習したいのですが、気軽に勉強できる環境があれば嬉しいです。蒲郡のミニマムさを活かして蒲郡中で様々なイベントが開催できるといいですね。
- ・市民と観光客が共に集まれる場所の提供
- ・生涯学習ガイドブックというものがあるということを知りました。広報誌を見て気になる講座があっても曜日、時間的に行けない講座だったり、平日フルで働いてる人向けではないと感じていました。対象はどんな人向けなのかなど思っていました。市内のイベントのチラシを保育園で配布してくれるので、気になるイベントには行ってみたりはすることもあるので、学校や保育園でもそういったチラシを配布してもらえると目に止まって興味があれば参加するかもしれないなと思いました。
- ・以前、ソフトボール場(浜町)が閉鎖された時や海陽グラウンドが使えなくなった時は、とても

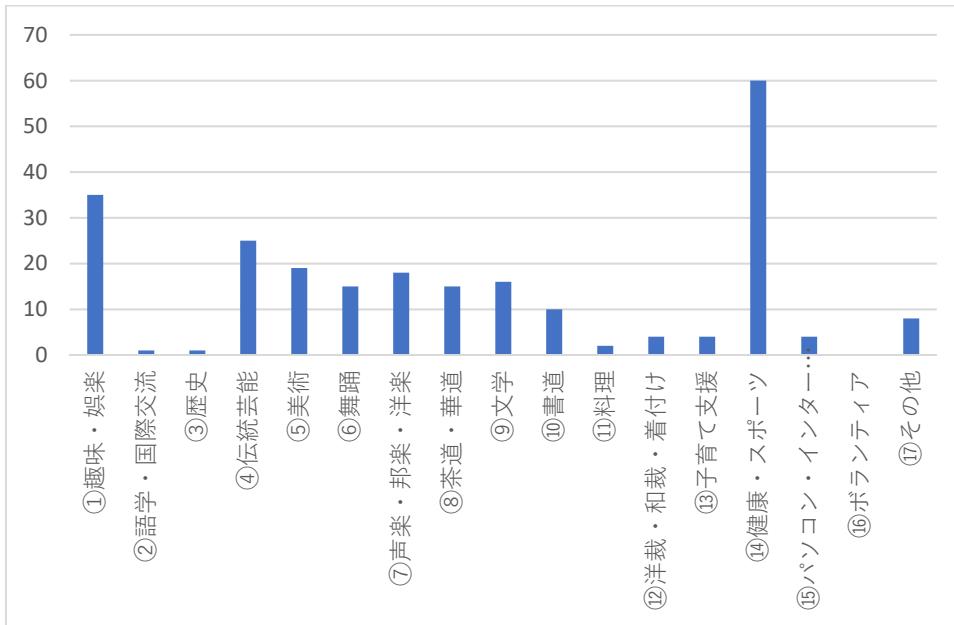
さみしく残念でした。県の施設なので、しょうがないですが、市内にスポーツ大会が開催できるレベルの施設をお願いします。スポーツの多様化と少子化で子供たちが少なく、チームの存続が危うい状況があると聞きます。市内にたくさんの少年野球チームなどは、一緒になりたいけどチームの歴史やOBの反対で難しいみたいです。スポーツ少年団の整理をしてみてもどうですか。

- ・新しいことにチャレンジしていくことが重要である。固定観念にとらわれず時代の波にあったものを柔軟に採用してほしい。インターネットの世界を知るなどではなく、YouTube等から学ぶこと知らないことを学ぶことも必要である。専門性の高い、再教育の学びの場を提供することも可能でないかと思われます。情報社会のプログラミング、現在、AIを学ぶのに必要なPythonなども新規性の高いプログラミング教育も必要ではないかと思われます。
- ・SNSの普及で人間関係が希薄で表面だけで繋がっている気がします。皆さん忙しくてお友達と日にちの都合を合わせて講座に参加する事が難しく、1人なら参加したいという講座があっても勇気が出ません。おひとり様限定講座などあれば、気兼ねなく参加できると思います。よろしくをお願いします
- ・図書館を見ればわかります。如何に豊川、幸田に比べて見劣りするか、ようは意識が低い。
- ・参加しやすい講座を開いて欲しい
- ・図書館によく行くが、チラシ類は階段下の暗くて立ち止まりにくい不思議な場所にあるな、子どもは見ないかもな…と思う。チラシに挿絵や写真が大きくあると目立つ。鞆が小さいと持ち帰れない。荷物を出し入れする場所、座って何かをする場所だと袋や鞆に入れて持ち帰る。難しいかもしれないが、そのような場所にも期待があるかも。既に検討済みかと思いますが、よろしくお願いいたします。

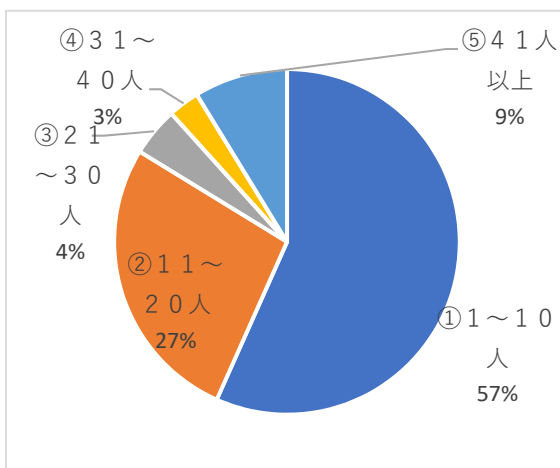
■回答集計結果(団体)

I 団体の概要について

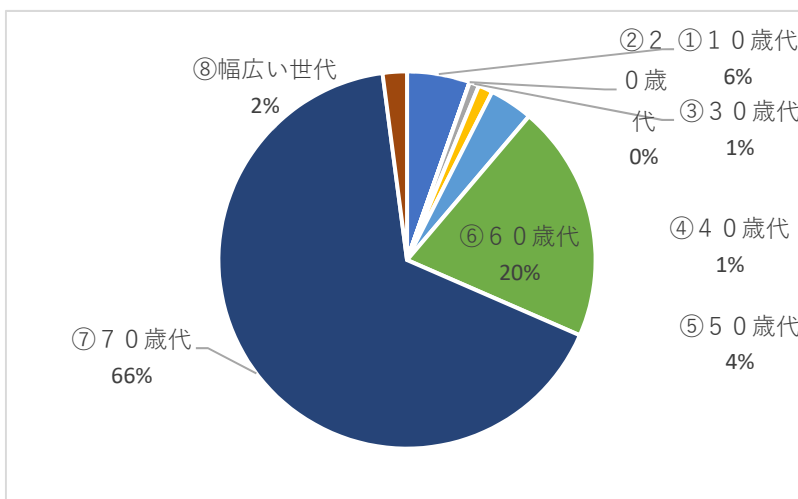
Q1 団体の分野



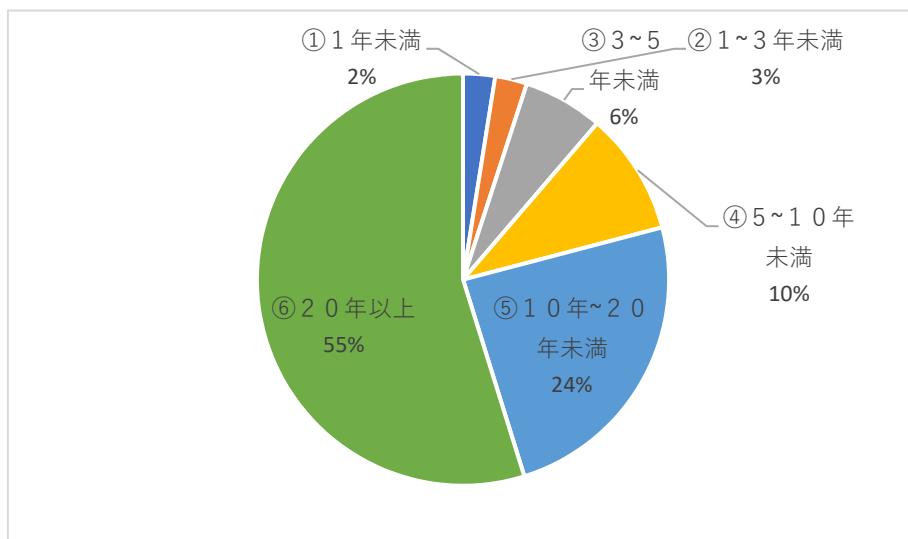
Q2 団体の会員数



Q3 会員の年代



Q4 団体の活動年数

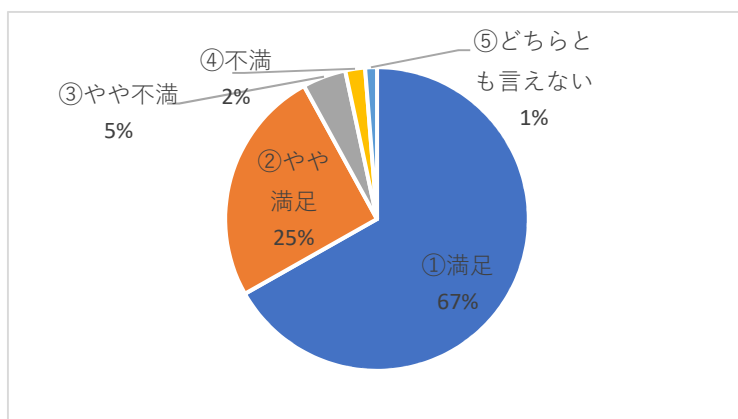


2 団体の環境について

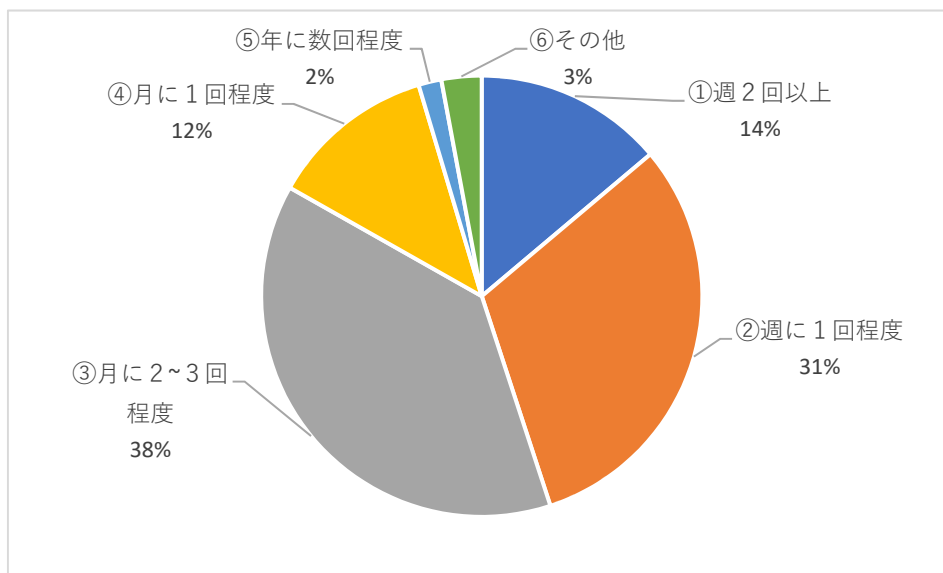
Q5 あなたの団体が活動されている市内の施設について、主なものを3つ以内で選んでください。

①公民館	210	④博物館	6
②市民会館	51	⑦公園グラウンド	5
⑧その他	17	⑧野外・運動施設	5
⑩学校施設	15	⑯デイサービスセンター	4
⑫勤労福祉会館	13	⑰利用していない	4
⑬生きがいセンター	11	⑮児童館	3
⑭寿楽荘	11	③図書館	2
⑤市民体育センター	7	⑥蒲郡文化広場	1
⑨地域の公園・運動広場	7	⑰民間のカルチャーセンター	1

Q6 あなたの団体が利用されている施設の環境について、どのように感じていますか。

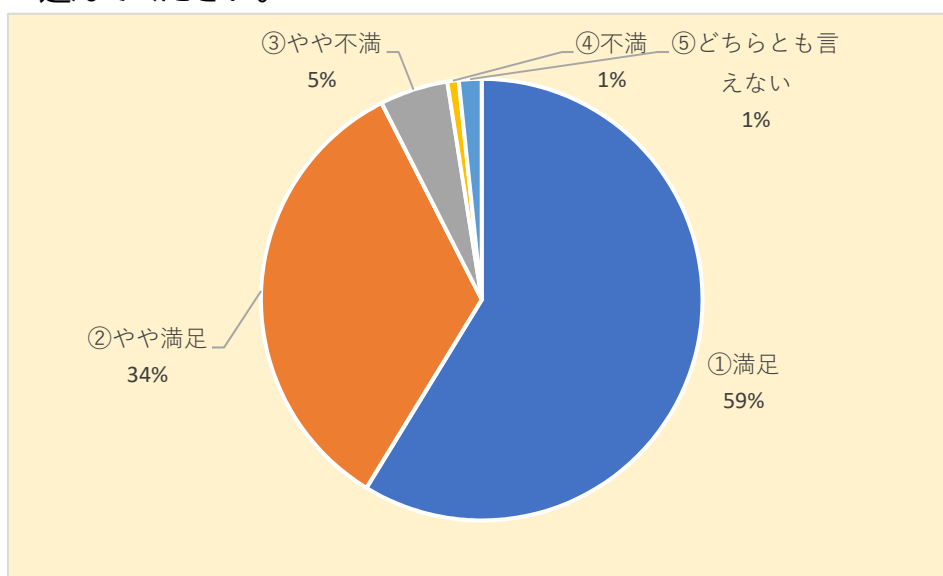


Q7 あなたの団体の活動回数について、あてはまるものを1つ選んでください。



3 ご自身の満足度について

Q8 ご自身の生涯学習活動全般について満足していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

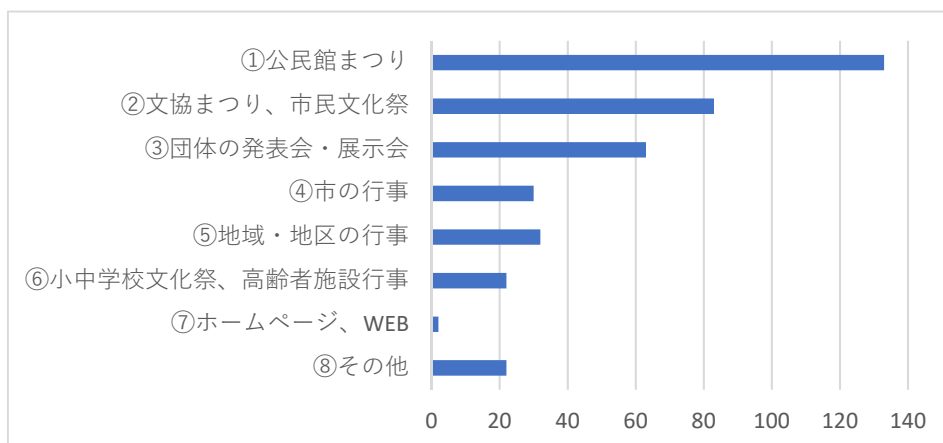


4 団体の活動について

Q9 日頃の生涯学習の成果を活用・発表していますか。あてはまるものを1つ選んでください。



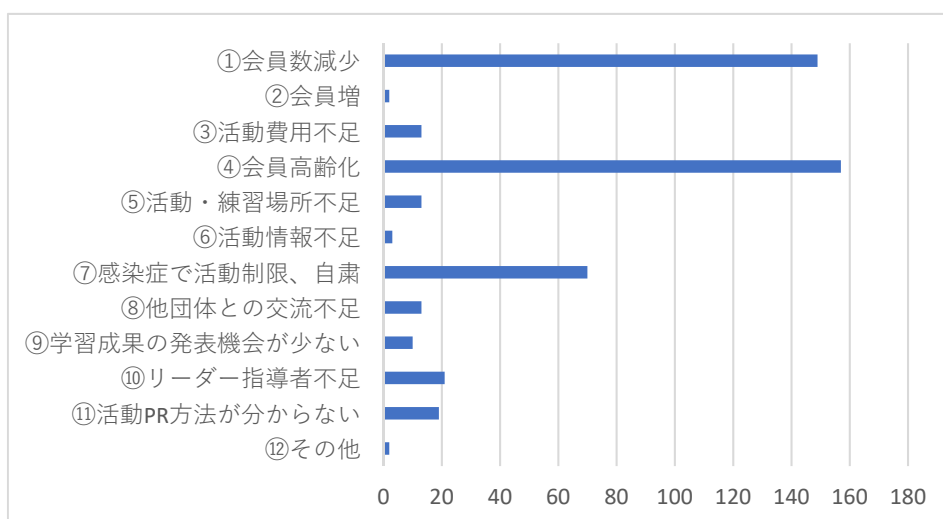
Q10 Q9で「①活用・発表をしている」とお答えの方におたずねします。それはどの行事、機会、ところですか。



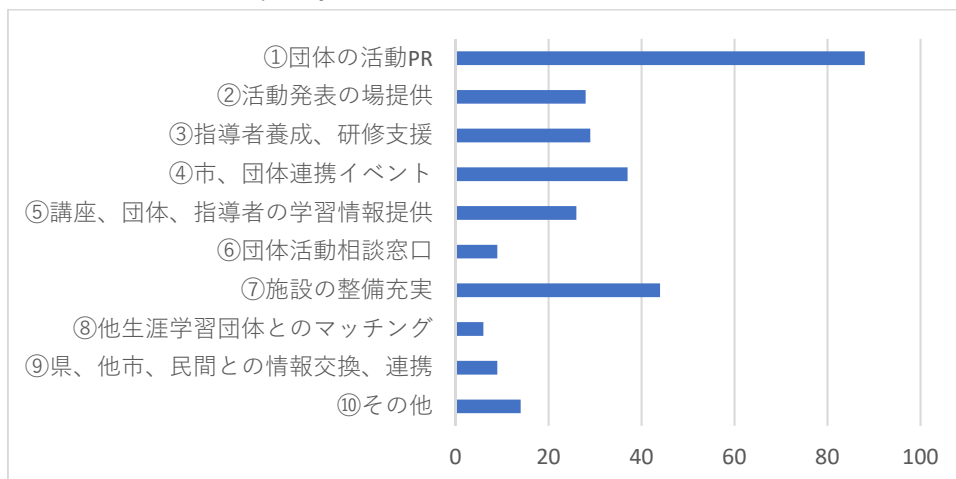
Q11 Q9で「②活用・発表をしていない」とお答えの方におたずねします。それはどのような理由ですか。

活動内容が発表に適さない	24
活用・発表をしたいと考えていない	20
現時点では練習段階で活用・発表できない	15
活用・発表検討中、その他	10
その他	9
手法・方法が分からない	4
実施場所がない	4
実施費用がない	1

Q12 あなたの団体が現在抱える課題はどのようなものがありますか。主なものを3つ以内で選んでください。



Q13 あなたの団体が抱える課題に対して、市に望む取り組みについてはどのようなものがありますか。

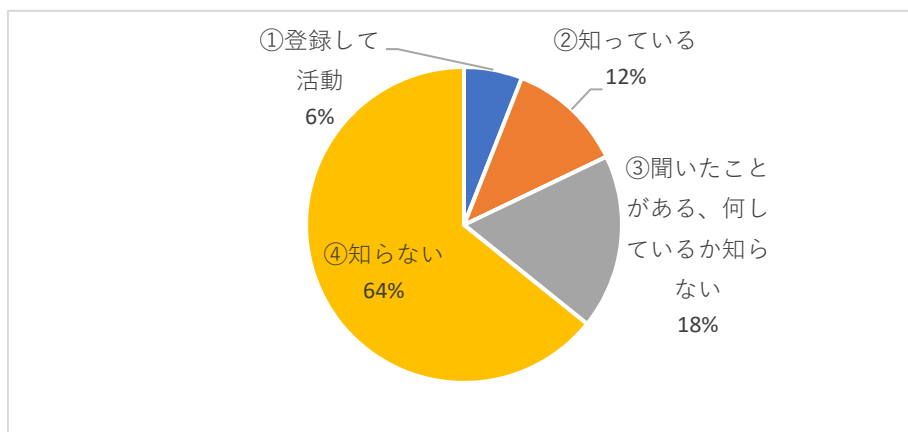


Q14 あなたの団体の今後の活動方針について、1つ選んでください。



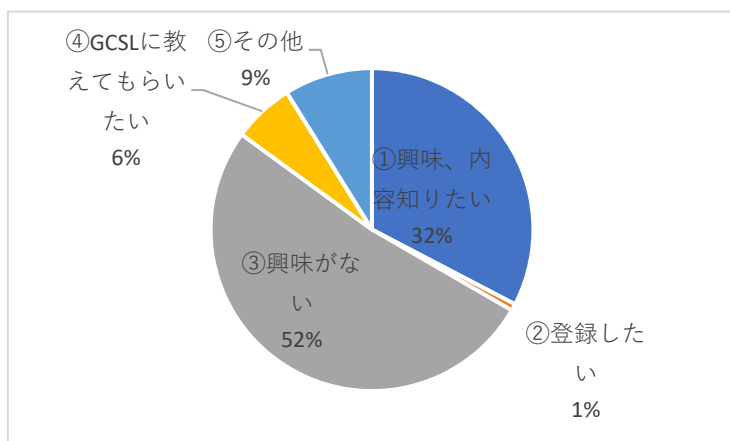
5 GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダーについて

Q15 GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー制度を知っていますか。あるいは登録していますか。1つ選んでください。



GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー制度 (Gamagori Culture Sports Leader) 趣味や特技を生かして市内のグループ・団体の活動をお手伝いする、ボランティア登録・派遣制度。詳細は生涯学習課へ、または市ホームページ(「GCSL」で検索)をご覧ください。

Q16 Q15で「②知っている」「③聞いたことがあるが、何をしているか知らない」「④知らない」と答えた方におたずねします。GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダーについて、1つ選んでください。



6 まとめ

Q17 生涯学習のまちづくりを推進していくためのご意見・アイデアがあればご記入ください。

- ・生涯学習の様々な講座や会の内容説明や会への入会の誘い。わかりやすく簡単に申込出来る入会案内の作成・配布。スポーツなどの何年もやっている古いリーダーの排除・新しいリーダーの育成・交代
- ・少子化が進んでいる中、子供のことに大人が積極的にかかわっていくとよいと思う。
- ・1市民会館のワイヤーの取り付けがもう少し低くなれば… 2市民会館東ホールの予約の取り方がもう少し楽になれば… 3エレベーターが小さすぎる。高さも欲しい。
- ・高齢化社会に進んでいく中、健康寿命を延ばす様に積極的に取り組んでいただきたい。
- ・日本語スピーチコンテスト(市内・東三河で演奏します。コカリナは市の行事に積極的に参加してきました。文協の初心者講座の参加団体の年間の枠が決められており申し込んでも断られる事態が発生しております。対策として公民館講座としてやってみたいです。市民公募文化事業としての発表の場があるといいと思います。私たちコカリナは名古屋・可児のメンバーにも文化協会に入会して頂いております。(参考資料 緑色の文協の発表会プログラム。コカリナの所の赤のラインのをお読みください)
- ・3B体操は自分の健康寿命をのばす目的としているので、発表はしないです。
- ・住民のより身近なところに練習、発表などの場を作ることが大切。参加の敷居の高さを低くするイベント(ちょっと参加)を実施する
- ・地域の老若男女が集えるように仕向けて行く指導者が必要
- ・公民館でクラブとして活動していますが、そうした活動状況を広報にものせていただくとクラブ員も増えていくと思います。
- ・やったことのない分野で知りたいものがあるかもしれないので、短期の講座を催してほしい。
- ・塔グループにおいては、主催者の確保に難あり。現在のところ、指導者の後継者が見当たらず、プロの師匠を頼っては自主的な活動とならず、個人の趣味の範囲におさまってしまう。この問題がなくなれば、もっと発信してゆきたいとは思っている。
- ・人数が少なくてもよろしければ、みんなの健康づくりの為に太極拳をしても良いと思っています

す。たとえば毎週だと大変ですので、1週間おきに公民館の2階とか小学校の体育館にて、おためして身体を動かすのはいかがでしょうか。

・最近では年2回位の練習になっているので、気力がなくなってやめる人も出ています。早くコロナが収まるのを願っています。

・高齢化のため若い人たちの手助けが欲しいと思っています。若い人の活動に力を入れて欲しいです。若い方へのピーアールが必要かと思えます。

・それぞれの活動に踏み込んで行く最初の段階を広く市民の方々に周知してもらえらる機会を広く作ってほしいと思えます。

・鏡のある施設にしてほしい。裸足で使える大広間かスタジオがあると嬉しい。

・和室の大広間があると助かります。土足エリアで裸足でする運動、ダンスは衛生上抵抗がある。

・若い人に興味をもって入って頂きたい。

・楽しく、待ち遠しいような談話会であればいくらか回想効果(思い出話に花が咲く)が期待できると思う。

・コロナの感染レベルによってすごく影響を受けています。レベルが上がると体操はやれなくなってしまいます。これにより中高年の参加者がだんだん来なくなるということになります。久しぶりに会うと、足腰が弱くなっていることが多いです。もうこれからレベルによってできたり、できなかつたりするシステムをやめていただきたいです。※実際、サークル活動で感染拡大することは少ないと思えます。排除されている、と感じます。

・平均年齢 70 歳以上……。もっと若い人の参加を望みます。

・若い人が興味や関心をもっと持てる様な演奏家(若い芸術家)を呼んで、鑑賞出来る機会を作る等。

・壮年・老年が多い。若い人、子育て中の方が参加出来るものを、単発でも良いので増やしてください。

・子育て世代は学びたいけれど、時間的な余裕やタイミングがないように感じています。学ぶ場の提供がとても大切になると思えます。例えば、妊婦さんの時のパパママ学級・子育て支援センターさんでの親御さん向け講座・保育園の入園説明会・小学校での入学前健康診断等の集まる必要のある日や前後に、状況に合う講座の企画や、案内もいいのではないかと考えています。同じ年齢を持つ親御さんを繋ぐ事も出来ますし、新生活への不安軽減や知識を得ることによる楽しさ、日常生活への活用など、プラス面も、大きいのではないかと思えます。また、別案ですが、西浦等、素敵な景観の温泉旅館も多く、平日の閑散期などには、旅館の広間等で講座を開催し、参加された方は温泉に入れる。等のお楽しみ企画も良いかと思えます?地元でもお邪魔したことのない旅館も多いかと思えます。1度足を運び、良いと思えば家族や友達とまた行きますし、SNS で発信してもらえたら、蒲郡に足を運んで下さる方も増えるのではないかと思えます??私事になりますが、現在西尾市の子育て支援センターさんから依頼を頂き、出張講座開催でお邪魔していますが、外部講師を呼ぶ費用が しっかり確保されており、月に何度も、様々な講座が開催されてビックリしています。(※2 つ資格保持しており、別講座として、2 つ開催依頼。)費用の確保もとても大切だと思います。読んで頂き有り難うございました!生涯学習課さんの方々が、この様な意見を出せる場を作ってくださいることに有り難く思っています。これからどうぞよろしくお願い致します。